

# 令和4年度主要事業

公営企業局(公営企業会計)

【水道・工業用水道・下水道・モーターボート競走事業】

令和4年2月

尼崎市公営企業局

## 【ありたいまちの実現に向けた取組】

公営企業局の各事業は、次に記載のビジョン、経営計画に基づき施策を実施していきます。

- 水道・工業用水道事業・・・「あますいビジョン2029」（令和2～11年度）
- 下水道事業・・・「あまがさき下水道ビジョン2031」（令和4～13年度）
- モーターボート競走事業・・・「尼崎市ボートレース事業経営計画」（令和1～5年度）

**New** のマークの取組は、新規事業を含む項目があります。詳細は各ページをご覧ください。

### 水道・工業用水道事業会計

#### 安全な水を安定して届ける

- 1. 水道事業の施設のあり方 …P.3
- 2. 工業用水道事業の施設のあり方 …P.4
- 3. 管路の計画的更新と維持管理 …P.5
- 4. 配水ブロック化 …P.6
- 5. 鉛製給水管の解消 …P.7

### 下水道事業会計

#### まちの暮らしを支える

- 6. スtockマネジメント手法を  
取り入れた施設の維持管理 …P.8
- New** 7. コンパクト化と統廃合検討を  
踏まえた施設の建替え …P.9
- 8. 下水の高度処理や水質監視  
計器設置等による川や海への  
放流水質の向上 …P.10

#### 災害から守り備える

- New** 9. 応急給水拠点の整備及び  
市民や地域との連携の充実 …P.11
- New** 10. マンホールトイレの設置・  
設営の推進など避難所等での  
トイレ機能の確保、民間事業者等  
による雨水貯留浸透施設の設置  
…P.12
- 11. 雨水ポンプの能力増強や  
雨水貯留管の整備による  
施設能力の強化 …P.13

#### 将来へ事業をつなげる

- New** 12. 広報・広聴 …P.14

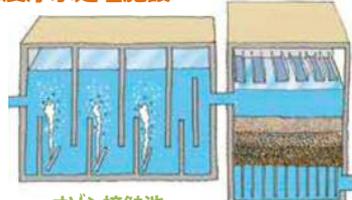
### モーターボート競走事業会計

ボートレースを通じ、お客様に感動を与え、尼崎のまちづくりに寄与する

- New** 13. 売上向上事業 …P.15
- New** 14. 施設整備事業 …P.16

取組名 1. 水道事業の施設のあり方（浄水場の設備更新ほか）																																																					
事業概要	令和4年度当初予算	令和3年度当初予算	令和2年度決算																																																		
<p>目的</p> <p>将来を見据えると、人口減少に伴う水需要の減少は続き、施設能力と水需要との乖離は広がっていくと考えられます。そのため、令和12年度以降に神崎浄水場を配水場化<sup>※1</sup>することとし、将来の投資や維持管理費用の縮減を図ります。</p>	133,109千円	130,481千円	82,305千円																																																		
令和4年度の内容	計画目標																																																				
<p><b>【神崎浄水場の再整備】</b></p> <p>①再整備基本計画策定支援業務委託 将来的な配水場化等を見据えた中で、浄水機能を維持するための最適な整備等、神崎浄水場の再整備を効率的、効果的に行っていくための基礎資料を作成する業務委託を行います。 委託は令和3、4年度にわたって実施します。 (52,994千円)</p> <p><b>【神崎浄水場の機能維持】</b> 神崎浄水場を配水場化するまでの間、安定供給機能の維持に必要な施設整備を行います。</p> <p>①特高設備設計業務委託 神崎浄水場の特高設備は平成3年度に設置され、大半の部品が寿命期となることや、不具合が生じた場合市内配水の停止による影響等が考えられることから更新を行います。 令和4年度に設計を行い、令和7年度に工事が完了する予定です。(11,178千円)</p> <p>②活性炭入替ほか 高度浄水処理施設の活性炭吸着池で使用する粒状活性炭について、4池ある活性炭吸着池の内、令和3年度は2池、残り2池を令和4年度に入替を行います。 (68,937千円)</p>	<p>本市の自己施設である神崎浄水場の施設のあり方を検討するにあたっては、阪神水道企業団(以下「阪水」という。)からの受水と自己水の保有バランスがポイントとなります。 神崎浄水場については、今後の水需要の動向を見据えながら、浄水機能の停止による配水場化の時期を慎重に見極める必要があります。そのような中、市内配水量の約8割を担う阪水からの受水量を削減する取り組みを進めており<sup>※2</sup>、水需要減少により余剰となる受水量を削減することを目標としております。 これらを踏まえ、以下のスケジュールで神崎浄水場の浄水機能見直しの検討を進めてまいります。</p> <p>(今後の計画スケジュール)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> <th>R9</th> <th>R10</th> <th>R11</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受水量削減に関する協議</td> <td></td> <td>R3~R4</td> <td>☆</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>☆</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>神崎浄水場再整備基本計画策定支援業務委託</td> <td></td> <td>R3~R4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>施設整備に係るPPP/PFI導入可能性調査業務</td> <td></td> <td></td> <td>R5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>PPP/PFI手法導入支援業務～施設再整備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>R6~R11</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・受水量削減に関する協議(R3～R4) 今後、長期的に水需要の減少が予測されるため、阪水猪名川浄水場の施設規模縮小の機会に合わせ、受水と自己水の両方で水需要に対する供給能力を確保しつつ、『可能な限りの受水量削減』に取り組みます。</p> <p>・再整備基本計画の策定(R5～R6) 確定した受水量を考慮した浄水機能維持に最適な整備に向け、「中央管理棟」及び「配水ポンプ棟」の整備や、PPP/PFI導入可能性調査等を踏まえた浄水場再整備基本計画を策定します。</p>			項目	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	受水量削減に関する協議		R3~R4	☆				☆			神崎浄水場再整備基本計画策定支援業務委託		R3~R4								施設整備に係るPPP/PFI導入可能性調査業務			R5							PPP/PFI手法導入支援業務～施設再整備					R6~R11				
項目	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11																																												
受水量削減に関する協議		R3~R4	☆				☆																																														
神崎浄水場再整備基本計画策定支援業務委託		R3~R4																																																			
施設整備に係るPPP/PFI導入可能性調査業務			R5																																																		
PPP/PFI手法導入支援業務～施設再整備					R6~R11																																																
備考	<p>※1 神崎浄水場の配水場化 … 浄水場には、水道水を作る浄水機能と、その水道水を一旦溜（た）め供給する配水機能があります。水需要や人口の減少を踏まえ、将来の投資や維持管理費用を縮減するため、神崎浄水場の浄水機能を廃止しようとするものです。なお、配水場化にあたっては、水道水の供給を受ける阪水が今後実施するリスク対策の状況を考慮する等、本市水道供給システムの安全性・安定性が十分に確保できることを慎重に検討し、将来的に水需要の減少に伴い余剰となる神崎浄水場の浄水機能の見直しを行ってまいります。</p> <p>※2 受水量削減の取り組みについて … 阪水構成市の水需要減少を背景として、阪水猪名川浄水場の改修工事に合わせた施設規模の縮小（ダウンサイジング）を令和9年度に予定しています。これに伴い、分賦基本水量（受水量）が見直されることから、本市にとって最大限の受水費削減ができるよう協議・調整を進めています。なお、協議は阪水次期財政計画（令和6年度～令和9年度）の内容が確定する令和5年度末までに完了する予定です。</p>																																																				

高度浄水処理施設



オゾン接触池

オゾンがカビ臭物質などを砕きます

活性炭吸着池

オゾンが砕いたカビ臭物質などを取りのぞきます

水道・工業用水道事業会計 【安全な水を安定して届ける】

取組名	2. 工業用水道事業の施設のあり方（配水場の設備更新ほか）		
事業概要	令和4年度当初予算	令和3年度当初予算	令和2年度決算
<p>目的</p> <p>工業用水道の施設は、主に高度経済成長期初期の増加する水需要に対応するため整備し、50年以上経過しているものが大半となっています。また、ユーザー企業の工業用水の使用廃止に伴う給水収益の減少が続いている状況です。そのため、将来の施設のあり方について、他の事業体と連携して検討を行うなど、工業用水の安定した供給の継続を目指します。</p>	78,238千円	465,954千円 (令和2年度繰越額 15,367千円を含む)	37,765千円
令和4年度の内容	【計画目標】		
<p>【園田配水場】</p> <p>①配水管圧力遠方監視装置更新工事 市内に3か所（大高洲・大浜・東浜）ある工業用水配水圧の遠方監視装置が、経年劣化により突発的な故障が想定されるため、予防保全の観点から更新します。 （12,314千円）</p> <p>【神崎浄水場】</p> <p>②工業用水配水ポンプ更新 神崎浄水場の工業用水を配水するために必要な工業用水道用のポンプ3台を令和2年度から年間1台ずつ更新しており、令和4年度で更新が完了します。 （28,640千円）</p> <p>③園田系シーケンサ(制御装置)改造工事 園田系沈殿池に設置している工業用水道事業用のシーケンサは、工水設備を中央管理室から監視操作及び制御を行う機器ですが、設置後20年が経過しており、部品の調達ができない状況であることから、水道事業用の既設シーケンサに工水設備用プログラムの機能増設を行い、直接制御します。 （13,178千円）</p> <p>【一津屋取水場】</p> <p>④弁類更新 経年劣化が激しい導水ポンプ用吐出弁と逆止弁を更新します。 （24,106千円）</p>	<p>【猪名川浄水場への移転について】</p> <p>①現状 現在、本市の工業用水は、西宮市、伊丹市との三市共同施設である園田配水場と、尼崎市の施設である神崎浄水場から配水する形態となっており、これらの施設は老朽化が進んでいることから、今後、耐震化などの対策が必要な状況です。一方で、水道水の供給を受けている阪神水道企業団の猪名川浄水場施設の一部が余剰となることから、工業用水施設としても活用するための検討を関係五者（神戸市、尼崎市、西宮市、伊丹市、阪神水道企業団）間で継続的に行っています。</p> <p>②課題 令和3年度は、工業用水を安定的かつ持続的に運営していくために最適な「施設形態」や「運営形態」に関する協議を行っており、特に、阪神水道企業団へ工業用水の浄水処理等を委託する場合の「業務範囲」や、災害など非常時における阪神水道企業団との「リスク分担」が課題となっています。</p> <p>③令和4年度の予定 今後、これらの課題への対応策を含めた協議を行い、将来、猪名川浄水場へ移転するのか、園田配水場で工業用水の供給を継続するのかについて、令和4年度末までに方向性を決定することとしています。</p>		
備考			
<p>◇阪神間における尼崎市の工業用水道施設の概況</p> <div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一津屋取水場 &lt;昭和43年に建設&gt; 1企業団5市共同施設 (大阪広域企業団・大阪市・神戸市・尼崎市・西宮市・伊丹市)</li> <li>・江口取水場 &lt;昭和37年に建設&gt; 尼崎市工水の単独施設</li> <li>・園田配水場 &lt;昭和43年に建設&gt; 3市共同施設 (尼崎市・西宮市・伊丹市)</li> <li>・神崎浄水場 &lt;昭和42年に建設&gt; 尼崎市水道の施設を尼崎市工水も共同利用 平成14年から供用開始</li> </ul> </div> <div style="flex: 2;"> </div> </div>			

水道・工業用水道事業会計 【安全な水を安定して届ける】

取組名 3. 管路の計画的更新と維持管理

事業概要	令和4年度当初予算	令和3年度当初予算	令和2年度決算
------	-----------	-----------	---------

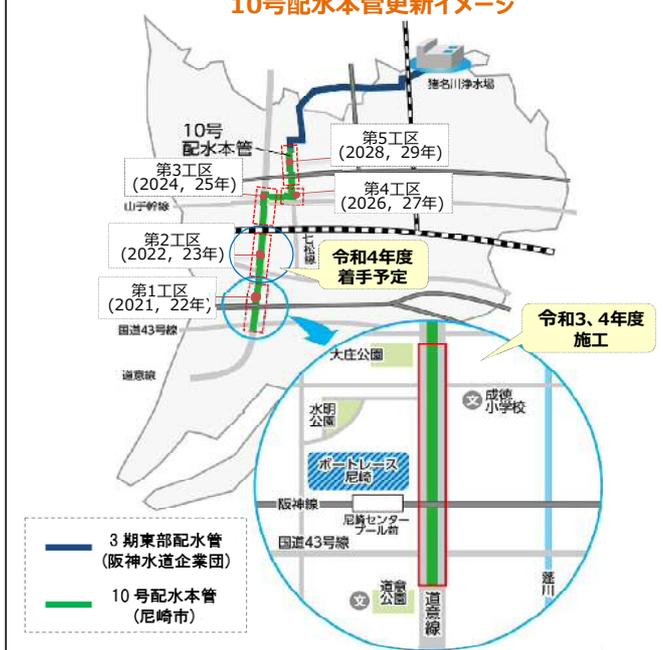
目的	2,119,653千円 水道1,842,506千円 工業用水道277,147千円	2,802,406千円 水道2,486,072千円 (令和2年度繰越額897,634千円を含む) 工業用水道316,334千円 (令和2年度繰越額66,783千円を含む)	1,124,809千円 水道1,097,059千円 (令和元年度繰越額206,682千円を含む) 工業用水道27,750千円 (令和元年度繰越額21,000千円を含む)
----	--	---	--

高度経済成長期に集中的に布設を行った配水管の更新時期が徐々に到来しています。本市では土壌分析などの状態監視調査を行い、実態に応じた老朽度を管路ごとに把握し更新を行ってきています。今後も引き続き、「重要度・老朽度・耐震性」の3つの観点から更新優先度を設定し、更新事業費の平準化を図るとともに、水需要の減少を考慮した配水管の大きさ(口径)で、適切に更新を行います。

工業用水道の配水管についても水道と同様に3つの観点から更新優先度を設定し、更新事業費の平準化を図るとともに、強度が低い材質の配水管を優先して更新していきます。

令和4年度の内容

①水道事業  
約11.6kmの配水管の更新工事を行い、基幹管路と重要給水施設に至る管路の耐震化を進めます。  
また、本市において布設後60年近く経過し、最も口径の大きい配水管である10号配水本管の更新(第1、2工区)を実施します。  
(1,842,506千円)



②工業用水道事業  
約0.3kmの配水管の更新工事を行います。また、更新に必要な設計委託も併せて行っていきます。  
(277,147千円)

計画目標

○水道事業ではビジョン期間中(令和2年～11年)に約100kmの配水管の更新を予定しています。そのなかで、基幹管路については国の目標値である耐震化率50%はすでに達成しており、さらなる向上を目指し、令和4年度は53.2%、重要給水施設に至る配水管の耐震化率は68.9%に向上させます。



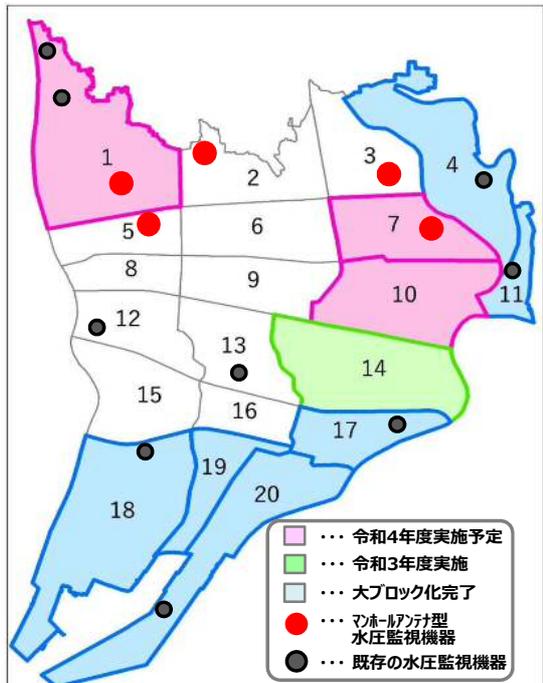
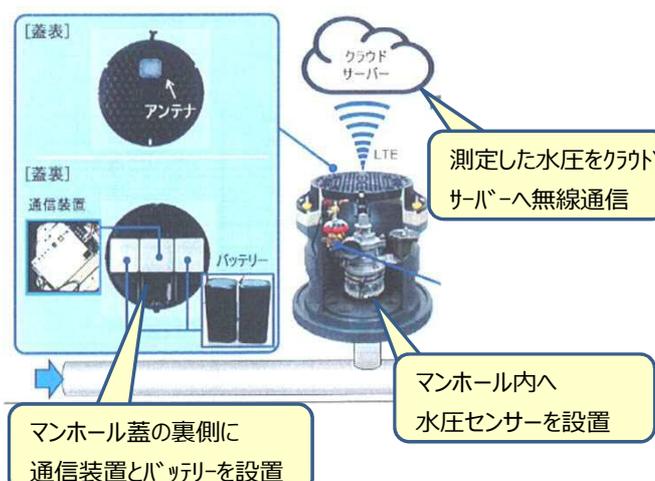
○工業用水道事業ではビジョン期間中(令和2年～11年)に約6kmの配水管の更新を予定しています。そのなかで、基幹管路の耐震化率は令和4年度64.6%(令和11年度目標69%)に向上させます。

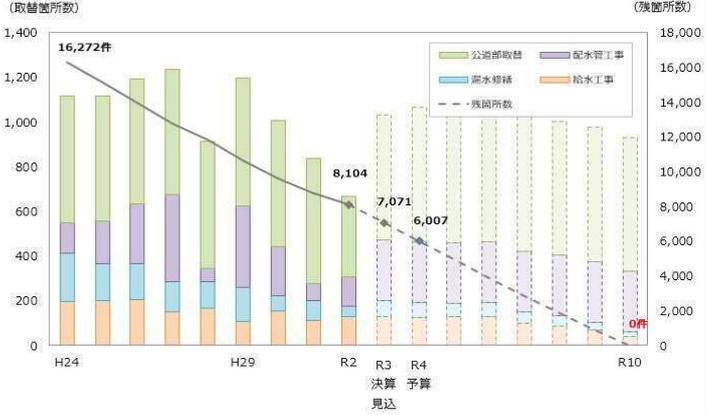
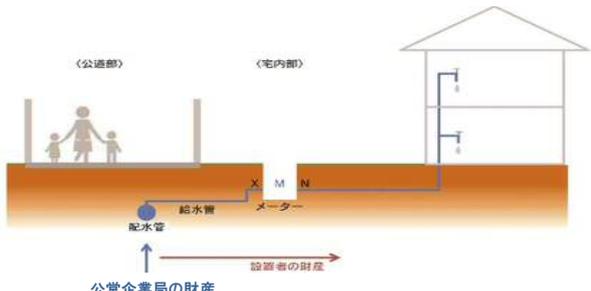
○更新工事の進捗状況(実績は繰越含) (R3.11末時点)

		R2	R3	R4	R5	R6
水道事業	計画	km 12.71 (累計) (12.71)	11.51 (24.21)	11.62 (35.84)	11.06 (46.90)	11.58 (58.48)
	実績	進捗率 22%	41%	61%	80%	100%
	計画	km 14.61 (累計) (14.61)	9.21 (23.82)	11.62 (35.44)	11.06 (46.51)	11.98 (58.48)
	実績	進捗率 25%	41% (予定)	61% (見込)	80% (見込)	100% (見込)
工業事業	計画	km 0.60 (累計) (0.60)	0.80 (1.40)	0.25 (1.65)	0.50 (2.15)	0.40 (2.55)
	実績	進捗率 24%	55%	65%	84%	100%
	計画	km 0.49 (累計) (0.49)	0.34 (0.83)	0.32 (1.15)	1.06 (2.21)	0.34 (2.55)
	実績	進捗率 19%	32% (予定)	45% (見込)	87% (見込)	100% (見込)

備考

- ※1 重要給水施設・・・災害時に重要な拠点となる病院や透析実施機関、指定避難所や防災拠点など、人命の安全確保を図るため、給水優先度が特に高い施設
- ※2 基幹管路・・・水を供給するうえで基幹的な役割を担う管路で、導水管と配水本管のことをさします。  
(導水管・・・河川などから取水した原水を浄水場まで導く管路)  
(配水本管・・・水道水を輸送分配する役割を持ち、口径300mm以上の配水管)

取組名	4. 配水ブロック化（市内配水エリアの整理）		
事業概要	令和4年度当初予算	令和3年度当初予算	令和2年度決算
<p>目的</p> <p>本市の配水システムは、配水管同士を市内全域で接続した「管網」を形成していることから、一部の管路が配水停止してもバックアップ機能が存在するという利点があります。</p> <p>一方、「個々の管路の配水状況が不明瞭」、「大規模災害時の水圧低下が広範囲に発生」、「北西部地域の災害時の水圧低下」という課題があります。</p> <p>そこで、市内を20のブロックに分割する配水ブロック化に取り組みます。これにより、断水範囲を局所化することができ、事故・災害時に迅速に断水を解消することが可能となります。</p>	14,839千円	84,875千円	-
<p>令和4年度の内容</p> <p>①北西部地域ブロック化 市内で最も標高の高い北西部地域（下図の1）については、ブロック化に必要な電動式流量調節弁の整備が完了することから、令和4年度に配水ブロック化を完了させます。</p> <p>②大ブロック化 令和4年度も引き続き大ブロック化に取り組み、2カ所（下図の7、10）の大ブロック化を完了させます。これにより、20箇所の大ブロックのうち10カ所の大ブロック化が完成します。</p> <p>③水圧監視機器の整備 配水ブロック化による配水機能向上のため、災害時に水圧低下が想定される市内北部へ優先してマンホールアンテナ型の水圧監視機器（5基）を新たに設置します。（14,839千円）</p>	<p>計画目標</p> <p>配水ブロック化は大きく4つの項目に分け進めていきます。</p> <p>○北西部地域ブロック化（系統ブロック化）（令和2～4年度） 本市は、4つの浄水場等から市内に配水しており、そのうちのひとつである野間ポンプ室から配水しているエリア（北西部地域）を配水ブロック化します。</p> <p>○大ブロック化（令和2年度～7年度） 地形や管網の状況をもとに市内を20の配水ブロックに分割する大ブロック化を行います。 この大ブロック化はブロック境界付近にある配水支管のバルブを操作することで実施します。</p> <p>○小ブロック化 標高が高くなっている北部地域においては大ブロック化を行っても、その大ブロック内において高低差が生じてしまうため、効果的な応急復旧を行っていくためには、さらにブロックを細かく小ブロック化していくことが必要となります。 小ブロック化は北西部地域ブロック化や大ブロック化の進捗に合わせて実施していきます。</p> <p>○水圧監視機器の整備（令和4年度～11年度） 平常時の安定給水の確保及び事故・災害発生時における市内水圧を瞬時に把握するため、大ブロックごとに2カ所（20ブロックで40カ所）を基本として、水圧監視機器を整備します。</p>		
<p>ブロック化のイメージ</p>  <p>● … 令和4年度実施予定 ● … 令和3年度実施 ● … 大ブロック化完了 ● … マンホールアンテナ型水圧監視機器 ● … 既存の水圧監視機器</p>	<p>マンホールアンテナ型水圧監視機器（イメージ）</p>  <p>マンホール蓋の裏側に通信装置とバッテリーを設置</p> <p>測定した水圧をクラウドサーバーへ無線通信</p> <p>マンホール内へ水圧センサーを設置</p>		
<p>備考</p> <p>※令和3年度は、1カ所（上図14）の大ブロック化を実施しました。なお、令和3年度末で合計7カ所の大ブロック化が完了します。</p>			

取組名	5. 鉛製給水管の解消		
事業概要	令和4年度当初予算	令和3年度当初予算	令和2年度決算
目的	<p style="text-align: center;"><b>169,845千円</b>                      <b>147,508千円</b>                      <b>97,749千円</b></p>		
<p>鉛製の給水管は、柔軟性に優れ、施工が容易であることから、昭和58年4月頃まで給水管の材料として使用されてきました。</p> <p>しかしながら、漏水が多いこと、水道水が長時間滞留すると鉛成分が水中に溶け出し、鉛濃度が水質基準を超過する可能性があることから健康への影響も懸念されています。</p> <p>そのため、本市では公道部の鉛製給水管の取替工事を進めるとともに、鉛製給水管の使用者に対しては個別通知による情報提供を行い、鉛製給水管の取替促進を目指します。</p> <p>さらに、漏水が多い鉛製給水管を解消することで、有効率※の向上にもつなげて参ります。</p>			
令和4年度の内容	計画目標		
<p><b>①公道部の鉛製給水管の取替工事</b> 令和4年度は601か所の鉛製給水管の取替工事を実施します。 また、併せて、老朽配水管の更新工事や給水管の漏水修繕工事の際にも取替を行っていきます。 (165,207千円)</p> <p><b>②鉛製給水管の個別通知</b> 鉛製給水管を使用していることを各ご家庭(約6万件)に認識していただき、水道水を安心してご使用して頂くための情報提供を目的として、令和元年度から個別通知を行っており、令和4年度は約14,000件へ送付します。また、個別通知によって、今後の建物の建替えや増改築工事等の際の参考にしていただくことで、鉛製給水管の取替を促進していきます。 (4,638千円)</p>	<p>・公道部の鉛製給水管の取替工事 公道部の鉛製給水管については、ビジョン期間中の令和10年度の解消を目指し取り組みます。</p> <p style="text-align: center;">＜鉛製給水管の取替個所数と残個所数＞</p>  <p>・鉛製給水管の個別通知 すべての鉛製給水管使用者に対して、ビジョン期間中の令和6年度の通知完了を目指し取り組みます。</p> <p>・有効率の向上 鉛製給水管の解消や配水管の更新などにより、有効率を現在の約96%(令和2年度)から国の目標値である98%を目指します。</p>		
備考	◇鉛製給水管への対応 鉛製給水管に水道水が長時間滞留すると鉛成分が水中に溶け出し、鉛濃度が水質基準を超過し健康への影響も懸念されるため、尼崎市では平成12年度から各浄水場において水道水のpH調整(pH7.5)を行い、鉛の溶出を低減しています。		
◇水道管等の財産区分	給水管はお客様の財産となっており、取替や修繕などはお客様の原則負担によって行っていただくこととなっています。		
	<p>※有効率 浄水場から送られた水が途中で漏水することなく、どれだけ有効に利用できたかを示す指標を有効率といいます。</p>		

# 下水道事業会計【まちのくらしを支える】

## 取組名 6. スtockマネジメント手法を取り入れた施設の維持管理

事業概要	令和4年度当初予算	令和3年度当初予算	令和2年度決算
<b>目的</b> 標準耐用年数を超える下水道施設が、今後、急激に増加するため、Stockマネジメント手法を取り入れることにより、膨大な資産に優先順位をつけて絞り込み、更新や修繕の判断をします。こうした予防保全を強化することによって、施設をもっと長く大切に使用し、効率的な施設の更新とそれらに係る費用の平準化を行います。	3,284,854千円	5,940,364千円 (令和2年度繰越額 2,454,410千円を含む)	3,823,673千円 (令和元年度繰越額 1,473,104千円を含む)

### 計画目標

#### 【下水道施設の更新優先順位】

「被害規模・老朽度」の2つの観点から点数評価し、点数を1～25に分類することで、更新優先度として評価します。更新優先度の高い施設の劣化状態を把握することで、不具合のあった施設の更新や修繕を優先的に実施し、事業費の平準化を図ります。



#### 令和4年度の内容

##### ①管路の更新や老朽管調査など

老朽化した管路を更新するとともに耐震性の確保を目的とした更生工事(11件、約1.9km)を実施します。また、令和5年度以降の更新工事の実施に向け、管路(φ800mm以上)の老朽度を調査します。(2,259,138千円)



製管作業



モルタル充填

##### ②機械・電気等の設備更新工事

施設機器の更新優先度が高いものについて、劣化診断を行い、必要に応じた更新を、東部浄化センター他5工場において実施します。(1,025,716千円)



自家発電設備



流入ゲート設備



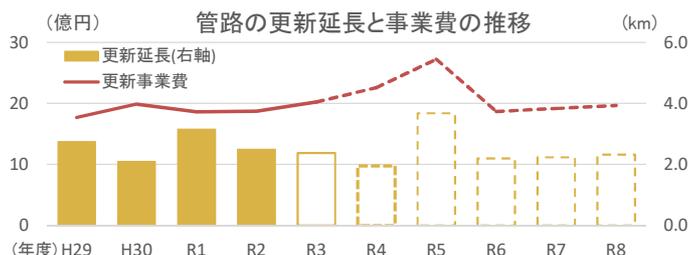
受変電設備



沈砂池設備

#### 【管路の更新スケジュール】

令和4年度から令和8年度末までにφ800mm以上の管路約200kmに対して約11kmの更新を予定しています。



#### 【設備の更新スケジュール】

設備の更新では、定期的な点検と修繕による予防保全の強化により、施設の延命化を図るとともに、建替えを見据えた効率的な更新サイクルを実施します。

#### 建替えに連動した更新サイクルの例



※上の図は、目標耐用年数(標準耐用年数の概ね1.5倍～2.0倍)で下水道施設を更新し、更に建替えと連動した場合の更新サイクルでの耐用年数を表しています。

### 備考

#### ◇Stockマネジメント手法とは

持続可能な下水道事業の実現を目的に、膨大な施設の状況を客観的に把握、評価し、長期的な施設の状態を予測しながら、下水道施設を計画的かつ効率的に管理することにより、下水道施設全体のライフサイクルコストの低減を図るための手法です。

下水道事業会計【まちのくらしを支える】

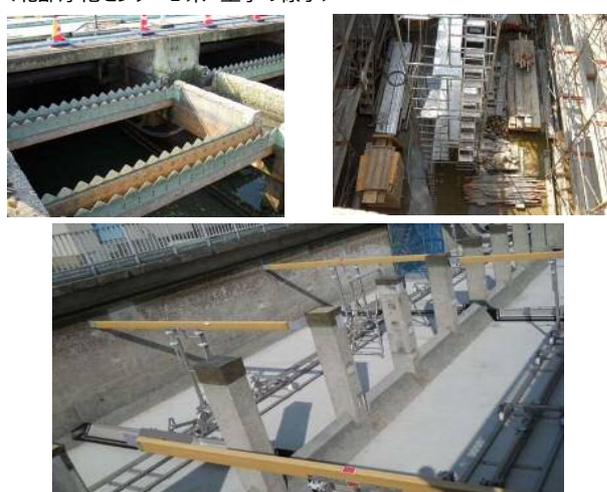
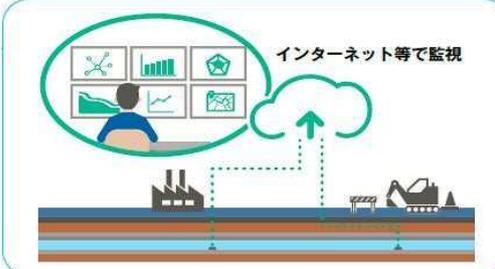
取組名	7. コンパクト化と統廃合検討を踏まえた施設の建替え(東部雨水ポンプ場)		
事業概要	令和4年度当初予算	令和3年度当初予算	令和2年度決算
目的	53,221千円	-	-
<p>本市の下水処理を普及させるため、ポンプ場や浄化センターを一時期に集中して整備(昭和40~50年代)してきました。今後、施設の老朽化が進むことにより建替え時期が集中することから、事業費の平準化や施設統廃合を考慮した建替え時期の分散化に取り組み、90年間でポンプ場・浄化センターの全11施設の建替えを目指します。</p>			
令和4年度の内容	計画目標		
<p><b>New</b></p> <p>(1)東部雨水ポンプ場の建替えに係る計画検討                      東部雨水ポンプ場に関わる建替えについては、建替えする雨水ポンプ場の機能確保に係る条件整理に加え、中在家中継ポンプ場雨水棟の統廃合検討やアスベスト調査等を行います。(53,221千円)</p> <p>(東部雨水ポンプ場周辺の施設配置図)</p>  	<p><b>【施設の建替えスケジュール】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今後の計画スケジュール(東部雨水ポンプ場)</li> <li>令和4年度 雨水ポンプ場の機能確保に係る条件整理、中在家P雨水棟の統廃合検討等</li> <li>令和5年度 基本計画策定及び土壌汚染状況調査</li> <li>令和6年度 下水道法や都市計画法の手続き</li> <li>令和7~8年度 休止施設解体及び新ポンプ場建設に係る設計の実施</li> <li>令和8~9年度 余剰地の活用検討</li> <li>令和9年度以降 休止施設の解体及び新ポンプ場の建設に係る工事の実施(令和12年度末完成予定)</li> </ul> <p>(東部雨水ポンプ場施設概要図)</p> 		
<p>※東部雨水ポンプ場の主な経緯</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>昭和37年10月：処理場として供用開始</li> <li>平成13年 4月：水処理機能を近隣の浄化センターに移管、雨水ポンプ場に機能縮小</li> <li>平成16年 4月：包括的民間委託を実施</li> </ul>			

備考

◇施設の建替えスケジュールについて  
 令和4年度から今後90年間で、全てのポンプ場と浄化センターの建替えを目指します。  
 施設の建替えは、下図のとおりその時期を分散化した計画とし、東部雨水ポンプ場は、供用開始している施設の中で一番古い施設であり、建替え用地についても確保できていることから、今後10年間で新ポンプ場への建替えを目指します。  
 なお、建替えにあたり用地の確保が必要なポンプ場については、必要な土地の確保について進めていきます。

建替え用地	施設名称/年度	~2031	~2041	~2051	~2061	~2071	~2081	~2091	~2101	~2111
○	東部雨水ポンプ場	ポンプ機他								
○	西川中継ポンプ場	ポンプ機他								
×	大庄中継ポンプ場	雨水棟				管理棟				
×	尾浜中継ポンプ場	雨水棟						管理棟		
×	中在家中継ポンプ場	雨水棟						管理棟		
○	北部浄化センター				ポンプ機他		2系/3系/1系 水処理棟・管理棟			
○	東部浄化センター					ポンプ機・フロア機他			1系/2系水処理棟	
×	栗山中継ポンプ場					ポンプ機				
×	富松中継ポンプ場					ポンプ機				
×	東灘波雨水ポンプ場							機械 室棟		
○	高田中継ポンプ場							ポンプ機		

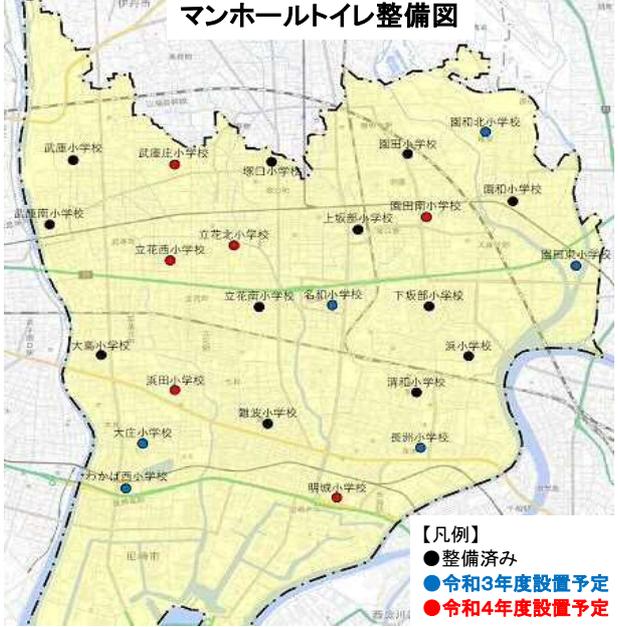
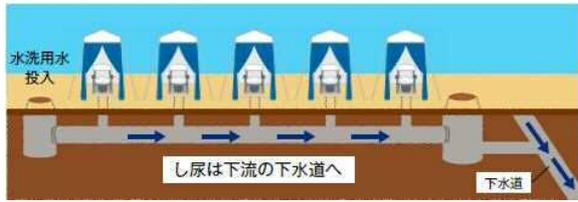
**下水道事業会計【まちのくらしを支える】**

取組名	8. 下水の高度処理や水質監視計器設置等による川や海への放流水質の向上																																																																																		
事業概要	令和4年度当初予算	令和3年度当初予算	令和2年度決算																																																																																
<p>目的</p> <p>公共用水域(川や海)において水質を維持し、さらなる水質向上による良好な水環境の形成を目指すため、下水処理施設である東部・北部の両浄化センターに高度処理設備を導入し、大阪湾での富栄養化の原因となる窒素、リンの削減に取り組みます。また、工場排水等に対してデジタル技術を活用した水質監視計器を設置することで監視を強化し、排水基準達成を目指します。</p>	1,217,224千円	1,818,301千円 (令和2年度繰越額 662,300千円を含む)	906,700千円 (令和元年度繰越額 481,000千円を含む)																																																																																
令和4年度の内容	計画目標																																																																																		
<p>①北部浄化センター1系水処理施設の高度処理化<sup>※1</sup> 北部浄化センターの1系水処理施設を窒素とリンが削減できる処理方式に改造する工事を実施します。</p> <p>&lt;北部浄化センター1系 工事の様子&gt;</p>  <p>②水質監視計器の設置<sup>※2</sup> 水質監視計器を下水道管路に設置する際の計器の選定や設置箇所等の検討を行います。</p>	<p>【高度処理化】 ○北部浄化センター1系の総事業費：4,348,700千円</p> <p><b>北部浄化センター施設概要図</b></p>  <table border="1" data-bbox="1197 1008 1484 1276"> <tr> <td><b>第1期工事</b></td> </tr> <tr> <td>期間：令和1～2年度 (一部3年度へ繰り越し)</td> </tr> <tr> <td>事業費：1,397,700千円</td> </tr> <tr> <td><b>第2期工事</b></td> </tr> <tr> <td>期間：令和2～3年度 (一部4年度へ繰り越し)</td> </tr> <tr> <td>事業費：1,205,000千円</td> </tr> <tr> <td><b>第3期工事</b></td> </tr> <tr> <td>期間：令和3～4年度</td> </tr> <tr> <td>事業費：1,746,000千円</td> </tr> </table> <p>○今後の計画スケジュール(東部浄化センター2系施設) 令和5～6年度 下水道法や都市計画法上の手続き等 令和7～9年度 設計、耐震診断の実施 令和10年度以降 工事の実施</p> <p>【水質監視計器の設置】 ○今後の計画スケジュール 令和4年度 計器の選定、設置箇所、システムの検討 令和5年度 設置に係る設計 令和6年度 工事の実施 令和7年度以降 運用開始</p>			<b>第1期工事</b>	期間：令和1～2年度 (一部3年度へ繰り越し)	事業費：1,397,700千円	<b>第2期工事</b>	期間：令和2～3年度 (一部4年度へ繰り越し)	事業費：1,205,000千円	<b>第3期工事</b>	期間：令和3～4年度	事業費：1,746,000千円																																																																							
<b>第1期工事</b>																																																																																			
期間：令和1～2年度 (一部3年度へ繰り越し)																																																																																			
事業費：1,397,700千円																																																																																			
<b>第2期工事</b>																																																																																			
期間：令和2～3年度 (一部4年度へ繰り越し)																																																																																			
事業費：1,205,000千円																																																																																			
<b>第3期工事</b>																																																																																			
期間：令和3～4年度																																																																																			
事業費：1,746,000千円																																																																																			
備考																																																																																			
<p>※1 高度処理化事業の概要 東部浄化センターと北部浄化センターそれぞれ1系列の水処理施設について、通常の下水処理に加え、窒素及びリンを安定的に処理できるように施設の改造工事を実施し、高度処理化を進めています。 ※主な目標水質基準(1年間の平均で、窒素8mg/ℓ以下、リン0.8mg/ℓ以下)</p> <table border="1" data-bbox="143 1881 702 2038"> <thead> <tr> <th>施設</th> <th>期別</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">東部浄化センター1系</td> <td>1期</td> <td>●</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2期</td> <td></td> <td>●</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3期</td> <td></td> <td></td> <td>●</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">北部浄化センター1系</td> <td>1期</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>●</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2期</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>●</td> <td>→</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3期</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>●</td> <td>→</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 東部浄化センター1系水処理施設は令和元年度に完成済。</p>	施設	期別	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	東部浄化センター1系	1期	●	→									2期		●	→								3期			●	→							北部浄化センター1系	1期							●	→			2期								●	→		3期									●	→	<p>※2 水質監視計器設置事業の概要 工場や工事現場等から排水された有害物質等は処理場の生物処理機能を阻害し、放流水質の悪化に繋がります。これを防ぐためには、有害物質等の排水の早期発見及び排水元の特定制並びに指導による排水の停止が重要となります。そのため、下水道管路の分岐点など必要箇所水質監視計器を設置して監視を強化し、速やかな事業所指導や排水に対する意識の向上を図ります。</p> 		
施設	期別	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4																																																																								
東部浄化センター1系	1期	●	→																																																																																
	2期		●	→																																																																															
	3期			●	→																																																																														
北部浄化センター1系	1期							●	→																																																																										
	2期								●	→																																																																									
	3期									●	→																																																																								

水道・工業用水道事業会計 【災害から守り、備える】

取組名 9. 応急給水拠点の整備及び市民や地域との連携の充実			
事業概要	令和4年度当初予算	令和3年度当初予算	令和2年度決算
<p>目的</p> <p>災害時に給水を行う応急給水拠点は、既存の応急給水拠点に加えて、避難所となる小中学校や地域振興センター等において応急給水栓を令和8年度までに69カ所設置し、既存の耐震性緊急貯水槽7カ所と浄水場3カ所と合わせ、合計で79カ所整備します。</p> <p>また、応急給水拠点のうち24カ所については、特に発災初期からの給水活動を確保するため、耐震化された配水本管と直結した応急給水栓を、全市域で市民の皆様の水の運搬距離がおおむね1km以内となるよう優先的に整備を進めており、令和3年度に整備完了予定です。</p> <p>今後も引き続き応急給水拠点の整備を行っていくとともに、市民の皆様が自身で応急給水拠点の開設を行えるよう、整備済みの拠点において定期的な訓練を実施していきます。</p>	27,993千円	228,091千円 (令和2年度繰越額 53,085千円を含む)	89,073千円 (令和元年度繰越額 17,285千円を含む)
計画目標			
<p>令和4年度の内容</p> <p>①応急給水拠点の整備                      応急給水拠点(配水支管)を5カ所整備します(26/45カ所)。                      応急給水拠点の整備は、配水管分岐部から耐震管を布設し、給水栓を設置します。応急給水に使用する資機材については、ベンチ型の収納ボックスを設置するなど、現地に備蓄します。                      また、地域へのPRを目的として、整備が完了した応急給水拠点の学校門等に案内板を設置します。                      (27,993千円)</p>	<p>①応急給水拠点の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>耐震化された配水本管※1から分岐した給水栓 令和3年度で24カ所整備完了予定</li> <li>耐震化された配水支管※2から分岐した給水栓 令和8年度までに45カ所整備予定</li> </ul> <p>②応急給水拠点での訓練実施(年間約15回)</p> <p>&lt;応急給水訓練の様子&gt;</p>		
 <p>&lt;応急給水栓とベンチ式倉庫&gt; (南武庫之荘中学校)</p>	 <p>&lt;学校門等へ設置する案内板のイメージ&gt;</p>		
<p>②応急給水拠点での訓練実施(年間約15回)</p> <p>整備が完了した拠点において、市民の皆様との応急給水訓練を実施します。</p> <p>また、マンホールトイレ(下水)の設営訓練とも合同で訓練を行います。</p>	<p>&lt;令和2年度(5回)&gt;                      潮江緑遊公園(11/29)、上坂部小学校(10/11)、園和北小学校(11/15)、武庫西生涯学習プラザ(2/24) 中央北生涯学習プラザ(3/18)</p> <p>&lt;令和3年度(4回)&gt;                      潮江緑遊公園(11/28)、浜田小学校(11/28)、園田小学校(12/5)、大庄中学校(3/13 予定)</p> <p>&lt;令和4年度(約15回)&gt;                      立花南小学校ほか</p>		
備考			
<p>※1 配水本管                      口径300mm以上の配水管で、管の厚みが太く、地震にも比較的強い管(配水管全体に対して、配水本管が占める割合は約11.7%)</p> <p>※2 配水支管                      配水本管から分岐して給水管に至る管で、本管と比べると管の厚みは薄く、耐震化されていないと地震の被害を受けやすくなる。</p>			
<p>【令和4年度整備カ所】</p> <p>◇応急給水栓(支管)・・・5カ所                      武庫中学校・武庫の里小学校・成徳小学校・成良中学校・小田北中学校</p>			

# 下水道事業会計【災害から守り備える】

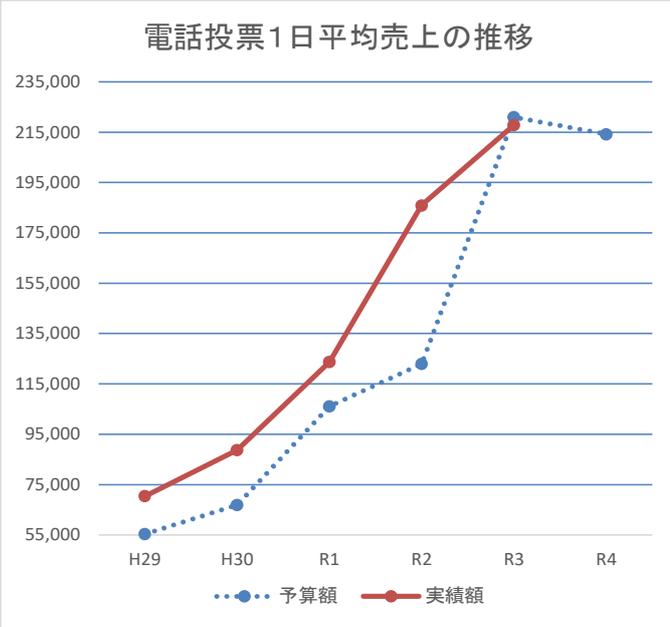
取組名	10. マンホールトイレの設置・設営の推進など避難所等でのトイレ機能の確保、民間事業者等による雨水貯留浸透施設の設置(雨水貯留タンク設置の更なる促進)		
事業概要	令和4年度当初予算	令和3年度当初予算	令和2年度決算
目的			
<p>(マンホールトイレ) 大規模な地震が発生し、下水道施設が被害を受けた場合は、トイレが使用できなくなる問題が生じます。災害時のトイレ機能確保の一つとして、避難所となる小・中・高校を対象とした全68校へマンホールトイレの設置を進めます。また、被災時に地域住民がマンホールトイレの設営ができるように自主防災組織などと連携して設営手順や使用ルールの周知に取り組みます。</p>	154,832千円	180,304千円 (令和2年度繰越額62,777千円を含む)	45,562千円 (令和元年度繰越額42,562千円を含む)
<p>(雨水貯留タンク) 各ご家庭や事業所などで雨水が下水道へ流れる量を減らす取組(共助)を行うことが、浸水により強いまちになり、被害の軽減につながります。共助の取組を後押しする一環として、雨水貯留タンク設置の更なる促進を図ります。</p>			
令和4年度の内容	計画目標		
<p>①マンホールトイレの整備、設営訓練 避難所となる小学校の内6校にマンホールトイレを整備します。(153,792千円)</p>	<p>【マンホールトイレの設置、設営訓練】 ・今後の計画スケジュール 令和4年度 明城小学校、浜田小学校、立花西小学校、立花北小学校、武庫庄小学校、園田南小学校にマンホールトイレを設置 (設営訓練は、整備が完了した学校を対象に実施) 令和5年度以降 毎年6校ずつ整備及び設営訓練予定</p>		
<p>①マンホールトイレの整備、設営訓練 避難所となる小学校の内6校にマンホールトイレを整備します。(153,792千円)</p>	<p>マンホールトイレ整備図</p>  <p>【凡例】 ●整備済み ●令和3年度設置予定 ●令和4年度設置予定</p>		
<p>設置が完了した避難所において、地域住民とのマンホールトイレの設営訓練を実施します。避難所に応急給水拠点(水道)がある場合は合同で訓練を行います。</p>	<p>マンホールトイレの整備</p>  <p>トイレの設営</p>  <p>＜立花南小学校での訓練の様子R3.11.7＞</p>		
New			
<p>②雨水貯留タンク設置助成金交付事業 雨水貯留タンクを設置しようとする市民等に対して、助成金の交付やあま咲きコイン(SDGsポイント)の活用により、その設置を促進し、雨水の貯留による下水管への流入を抑制します。(1,040千円)</p>	<p>備考</p> <p>◇マンホールトイレ概要図</p>  <p>※マンホールトイレは、専用の下水道管を布設し、発災時は便器を直接接続して TENT 等で囲うことで利用するトイレです。</p>		
<p>貯留タンク助成金 あま咲きコイン(SDGsポイント)</p> <p>概ね購入費用の2/3を助成</p> <p>購入費に対して還元</p> <p>1/3をポイント還元</p> <p>ポイント交付</p> <p>ポイントで商品購入</p> <p>市内加盟店限定</p> <p>NEW ポイント還元 タンク購入費(1基当たり)に対して最大20,000ポイント還元</p> <p>※雨水貯留タンク購入費60,000円以下の場合タンクを購入して自分で設置すれば…実質0円が可能な制度になりました。</p>	<p>○助成制度の拡充</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 助成割合を 1/2(市内)・1/3(市外) から 2/3(一律)へ</li> <li>(2) 助成上限金額を 3万円 から 5万円 へ(タンク4万+設置費1万)</li> <li>(3) 助成上限数を 1基 から 2基 へ</li> <li>(4) 助成申請受付に 電子申請 を追加</li> <li>(5) 雨水貯留タンク購入費の一部をあま咲きコイン(SDGsポイント)によりポイント還元(最大20,000ポイント)</li> </ol>		

## 下水道事業会計【災害から守り備える】

取組名	11. 雨水ポンプの能力増強や雨水貯留管の整備による施設能力の強化										
事業概要	令和4年度当初予算	令和3年度当初予算	令和2年度決算								
目的	795,774千円	1,034,416千円 (令和2年度繰越額 35,875千円を含む)	507,117千円 (令和元年度繰越額 505,019千円を含む)								
<p>近年の地球温暖化の進行により、気温上昇の影響から、雨の降り方が強くなっています。また、田畑の減少、建物や道路舗装等の増加といった都市化の進展により、雨が地面に浸透しにくくなっています。</p> <p>浸水被害に対応するため、本市の市域のうち、河川への放流量を増やすことができる区域は、雨水ポンプ(全49基)の能力を増強し、河川への放流量を増やすことができない区域は、一時的に雨水を取り込んで貯留する雨水貯留管を整備することで浸水被害の最小化を目指します。</p>											
令和4年度の内容	計画目標										
<p><b>①雨水ポンプ<sup>※1</sup>の能力増強</b></p> <p>気候変動により強くなる雨の降り方や、都市化で浸透しにくくなる地面への対応を考慮した下水道施設の能力強化(1.4倍の強化)として、大庄中継ポンプ場(⑧大庄分区)及び栗山中継ポンプ場(⑦武庫分区)においてポンプ(各1台)の雨水排水能力の増強工事を実施します。 (795,774千円)</p>	<p><b>【雨水ポンプの能力増強】</b></p> <p>・今後の計画スケジュール (図の①、②、⑤、⑦、⑧において実施)</p> <p>令和4年度                    2基(⑦、⑧分区) 令和5～8年度                8基 令和9～13年度               4基    計14基(27基/49基)</p>										
 <p style="text-align: center;">雨水ポンプ能力補強</p>											
<p>※1 『雨水ポンプ』とは、下水道のポンプ場において、管路を流下してきた雨水を、河川などの公共用水域に放流するためのポンプです。</p> <p>○雨水ポンプ能力増強の進捗状況(令和3年11月時点)</p> <p>①の地区    1基 ②の地区    4基 ⑦の地区    3基 ⑧の地区    5基    計13基</p> <p>※番号は計画目標欄の図の地域を表しています。</p>	<p style="text-align: center;">分区名</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">① 東部第1分区</td> <td style="width: 50%;">⑤ 西川分区</td> </tr> <tr> <td>② 東部第2分区</td> <td>⑥ 武庫分区(武庫)</td> </tr> <tr> <td>③ 東園田分区</td> <td>⑦ 武庫分区(塚口、富松、尾浜)</td> </tr> <tr> <td>④ 園田分区</td> <td>⑧ 大庄分区</td> </tr> </table>			① 東部第1分区	⑤ 西川分区	② 東部第2分区	⑥ 武庫分区(武庫)	③ 東園田分区	⑦ 武庫分区(塚口、富松、尾浜)	④ 園田分区	⑧ 大庄分区
① 東部第1分区	⑤ 西川分区										
② 東部第2分区	⑥ 武庫分区(武庫)										
③ 東園田分区	⑦ 武庫分区(塚口、富松、尾浜)										
④ 園田分区	⑧ 大庄分区										
備考											
<p>◇武庫分区(⑥分区)の雨水貯留管整備について</p> <p>雨水貯留管<sup>※2</sup>の整備に向け、発進立坑<sup>※3</sup>用地(県立武庫荘総合高校用地)の整備を進めています。</p> <p><b>【雨水貯留管の整備】</b></p> <p>・今後の計画スケジュール</p> <p>令和4～5年度    発進立坑用地の事前整備 令和5年度        発進立坑の整備 令和6～10年度   雨水貯留管本体工事の実施</p>											
<p>※2 『雨水貯留管』とは、雨天時に増加する雨水を既設下水道管から取り込むことで一時的に貯留し、浸水の被害を軽減する施設です。</p> <p>※3 『発進立坑』とは、地下に横穴(トンネル)を造る際、先にたて穴を掘り、所定の深さから横穴を掘ります。 このたて穴の名称が「発進立坑」です。</p>											

水道・工業用水道、下水道事業会計【将来へ事業をつなげる】

取組名	12. 広報・広聴（ウォーターニュースあまがさき発行ほか）		
事業概要	令和4年度当初予算	令和3年度当初予算	令和2年度決算
<p>事業概要</p> <p>目的</p> <p>水道、下水道は、快適な暮らしを支える重要な都市基盤であり、市民等の生活にとって欠くことのできないライフラインです。これらの大切さを市民の方々に改めて認識していただくとともに、事業に対する理解を一層深め、親しみを持ってもらうことを目的として、様々な取組を行っていきます。</p>	<p>47,907千円</p> <p>水道 13,965千円 下水道 33,942千円</p>	<p>22,926千円</p> <p>水道 12,767千円 下水道 10,159千円</p>	<p>19,659千円</p> <p>水道 15,686千円 下水道 3,973千円</p>
<p>令和4年度の内容</p>	<p>計画目標</p> <p>水道、下水道について、積極的な情報発信や、お客さまとの相互コミュニケーションを図っていけるよう、より効果的で楽しむことのできる広報活動に取り組みます。</p>		
<p>①ウォーターニュースあまがさきの発行</p> <p>水道、下水道に関する情報を発信している広報紙「ウォーターニュースあまがさき」を継続して発行します。（年4回発行予定） （14,461千円）</p> <p><b>New</b></p> <p>②携帯トイレの配布</p> <p>市民に備蓄の啓発を促すため、ウォーターニュースあまがさきの配布に合わせて、携帯トイレを各戸に1個ずつ配布します。 （22,916千円）</p> <p>③水道、下水道を身近に感じていただくイベントの実施</p> <p>神崎浄水場や北部浄化センターでの見学や催し等を通して、水道、下水道を知ってもらい、身近に感じていただくイベントを開催します。 （5,481千円）</p> <p>④マンホールカードの配布等</p> <p>下水道事業者の全国的な取組である“マンホールカード”の継続配布や新たなデザインマンホールを考案し、作成・設置を行うなど、下水道に関心を持っていただける取組を行います。 （308千円）</p> <p>⑤情報発信ほか</p> <p>災害情報や事業の内容について、ホームページでの情報発信に努めるとともに、グッズ等を用い、施設見学や社会科学習での活用など啓発を行います。 （4,741千円）</p>	<div data-bbox="826 689 1503 1220"> <p>ウォーターニュースあまがさきの発行</p>  </div> <div data-bbox="826 1243 1503 1758"> <p>水道、下水道を身近に感じていただくイベント</p> <p>開放イベント（神崎浄水場）</p>  <p>施設見学会（北部浄化センター）</p>  </div> <div data-bbox="826 1780 1503 2105"> <p>携帯トイレ、マンホールカード、情報発信ほか</p>  <p>携帯トイレ      マンホールカード      尼崎市給水車 チョロQ</p> </div>		
<p>備考</p>			

取組名	13. 売上向上事業																									
事業概要	令和4年度当初予算	令和3年度当初予算	令和2年度決算額																							
目的	609,874千円	132,098千円	58,732千円																							
<p>公営企業として安定した経営基盤を確立し、健全な経営を行うとともに、利益で本市財政に貢献するため、電話投票(インターネット投票)での発売に重点を置き、利用者数の更なる拡大と定着を図るとともに、SGオーシャンカップ競走を開催することで売上の向上を目指します。</p>																										
令和4年度の内容	計画目標																									
<p><b>①電話投票売上向上事業</b>                      (ア)YouTubeライブ予想配信事業                      令和3年度上半期に実施したパチスロライター等による対決企画等は、実施期間中の電話投票売上が1日平均売上額を約13%引き上げ、年間15億円程度の効果を見込んでいます。令和4年度も配信回数を増やして継続するとともに、ライトユーザー層にも届きやすい内容(狙いやすいレース、予想にあたっての注目点、買い方など)を加えて配信していくことで、電話投票売上の増加を図ります。                      (163,200千円)</p> <p>(イ)電話投票キャンペーン事業                      ボートレース尼崎の電話投票会員クラブの運営とキャッシュバック等のキャンペーンを引き続き実施していくとともに、会員特性や購買傾向のデータ分析等を行うことで新規会員の獲得等につなげます。                      (61,441千円)</p> <p>(ウ)ピットレポート配信事業                      利用者が求めるより質の高い情報(ピットでの選手の雰囲気や意気込み、モーター情報、レース展開など)をリアルタイムで提供していくことなどにより、ボートレース尼崎のファン獲得に努めます。                      (25,051千円)</p> <p><b>New</b></p> <p><b>②SGオーシャンカップ競走開催運営事業</b>                      【開催日程】                      令和4年7月19日(火)～令和4年7月24日(日)                      【イベント】                      ①SGオーシャンカップ前夜祭                      ②選手紹介セレモニー、優勝セレモニー等                      ③本場でのステージイベント、選手トークショー等                      ④YouTubeライブ予想配信                      ⑤電話投票キャンペーン など                      (360,182千円)</p>	<p>(参考) 電話投票1日平均売上(GⅡ以上を除く)の推移及び予算額 (単位:千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">電話投票 売上</td> <td>予算額</td> <td>55,340</td> <td>66,888</td> <td>106,088</td> <td>122,956</td> <td>220,942</td> <td>214,178</td> </tr> <tr> <td>実績額</td> <td>70,395</td> <td>88,725</td> <td>123,698</td> <td>185,897</td> <td>217,809</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和3年度の実績額は決算見込額。</p> <div style="text-align: center;">  <p>電話投票1日平均売上の推移</p> </div> <p>今後もコロナ禍による社会経済活動への影響は不透明ですが、収束に向かえば旅行や会食などのレジャーの多様化により、売上の減少が予想されます。こうしたことから、令和4年度は、電話投票売上が5%程度減少すると見込まれますが、左記の取組を実施することにより2%程度売上が向上し、減少は3%程度となると見込んでいます。</p>					H29	H30	R1	R2	R3	R4	電話投票 売上	予算額	55,340	66,888	106,088	122,956	220,942	214,178	実績額	70,395	88,725	123,698	185,897	217,809	-
		H29	H30	R1	R2	R3	R4																			
電話投票 売上	予算額	55,340	66,888	106,088	122,956	220,942	214,178																			
	実績額	70,395	88,725	123,698	185,897	217,809	-																			
備考																										

取組名 14. 施設整備事業			
事業概要	令和4年度当初予算	令和3年度当初予算	令和2年度決算額
<p>目的</p> <p>老朽化が進む施設を計画的に更新することで、ライフサイクルコストの低減と安全性・快適性を確保するとともに、レース実施環境を整備するため、艇庫、ピット等の競技エリアの改築及びスタンド一般席等の更新を行います。</p> <p>また、近年の気象状況の変化等による「風」のレースへの影響を抑止し、安全にレースを開催するために防風ネットを設置します。</p>	463,661千円	66,976千円	—
令和4年度の内容	計画目標		
<p><b>New</b></p> <p>①競技エリア施設整備事業</p> <p>競技エリアの整備については、レースを開催しながらの施工となるため、全体工期が短く、かつ、長期のレース非開催期間をできるだけ避けるために、設計と施工を一括発注する「デザインビルド方式」での発注を予定しています。</p> <p>令和4年度は、施設配置案や工程調整のための関係者協議や、工期・総工事費等の算定のための業務委託を実施します。 (23,386千円)</p> <p>②メインスタンド一般席等改修事業</p> <p>老朽化が進むメインスタンド1階及び3階の座席、床、壁等の改修工事を行います。 (330,000千円)</p> <p><b>New</b></p> <p>③防風ネット整備工事</p> <p>風の影響を軽減し、安全にレースを開催するために、防風ネットを整備します。 (110,275千円)</p>	<p>施設の課題を解消し、モーターボート競走事業を安定的に継続しつつ市財政に貢献するため、レースを開催しながら改修を進めます。</p> <p>【スタンド3階一般席】</p>  <p>【防風ネットのイメージ(常滑競艇場)】</p> 		
<p>備考</p>			

